

アンケート集計結果

1. お住まいはどちらですか。() 都/道/府/県
 - ・東京 40人
 - ・神奈川 11人
 - ・千葉 2人
 - ・埼玉 5人
 - ・茨城 1人
 - ・大阪 1人
 - ・京都 1人

2. 年齢
 - (1) 10代 0人 (2) 20代 7人 (3) 30代 15人
 - (4) 40代 13人 (5) 50代 8人 (6) 60代 7人
 - (7) 70代 2人 (8) 80代以上 0人

3. 性別 (1) 男性 53人 (2) 女性 7人

4. 本シンポジウムはどこで知りましたか。
 - (1) 新聞 1人 新聞名 (毎日新聞) (2) 雑誌 0人
 - (3) ホームページ 16人 (・エコサイ ・疋田氏のブログ ・ツーキニスト)
 - (4) 友人知人 13人 (5) チラシ 4人
 - (6) その他 29人 (・全歩連ML ・疋田氏のML ・メルマガ
・二弁のDM ・自活研のメールニュース)

5. 都市交通問題に関する活動や職業に関わっていますか。
 - (1) はい 21人 (2) いいえ 37人

6. 上記5で「はい」と回答された場合、差し支えなければ所属する団体の名称をお答えください。
 - (・全歩連 ・メッセンジャーズハイエージェンシー ・都市生活改善ボランティア
・クルマ社会を問い直す会 ・(有) サイクリングツアープロジェクト
・樵出版社 バイシクルクラブ編集部 ・自活研 ・サイクルラック協会
・都市計画家協会 ・エコサイ ・(有) ライジング出版 ・東京を自転車で走る会
・アーバンエコロジー東京 ・パシフィックコンサルタンツ(株) ・(有) フィット
・高齢者交通安全指導員 ・まちづくりを考える会ハスダ ・全国鉄道利用者会議
・東京バイカーズ)

7. 職業をお答えください。

- (1) 会社員 27人 (2) 公務員 8人 (3) 事業経営者 7人
(4) 弁護士 1人 (5) 主婦 2人 (6) 無職 3人 (7) 学生 0人
(8) その他14人 (・作家 ・団体職員 ・研究所員 ・フリーライター
・ボランティア ・教員 ・自営業 ・イラストレーター)

8. 特に関心のある都市交通問題は何ですか。

- (1) 大気汚染 16人 (2) 騒音・振動 7人 (3) 渋滞 16人
(4) 通勤ラッシュ 9人 (5) 交通事故 23人
(6) まちづくり 35人
(7) その他 8人
(・公共交通機関・自転車利用の効果的促進・観光 ・自転車問題 ・クルマ社会)

9. 自転車を持っていますか。 (1) 持っている 62人 (2) 持っていない 1人

}	1台	11人
	2台	19人
	3台	11人
	4台	11人
	5台	2人
	6台	2人
	11台	1人
	15台	1人

10. 自動車を持っていますか。

- (1) 持っている 22人 (2) 持っていない40人

}	・乗用車	1台	18人
		2台	1人
	・自動二輪	1台	2人
		2台	1人

11. 自転車をよく利用しますか。利用する方は、どんなときに自転車を利用しますか。

- (1) 通勤・通学（駅まで） 9人 (2) 通勤・通学（職場・学校まで） 26人
(3) 買い物 32人 (4) サイクリング 44人
(5) あまり利用しない 1人
(6) その他 5人
(・仕事で。メッセンジャーです。・全く利用しない ・街乗り、ポタリング)

12. 自転車を利用する時どこを通行しますか。

- (1) 主に歩道 2人 (2) 主に車道 43人
(3) 歩道と車道と同じくらい利用している 11人 (4) その他 0人

1 3 . 自転車は、車道を通行するのが原則であることを知っていましたか。

(1) 知っていた 5 8 人 (2) 知らなかった 0 人

1 4 . (自転車を使用しない方に) どういう理由から使用しないのですか。

(1) 自転車での移動に危険を感じるから 2 人
(2) 自転車での移動は不快だから 1 人
(3) 自転車を使用する必要があるから 0 人
(4) その他 1 人 (歩行者を傷つけないから)

1 5 . 自転車の移動空間について現行制度を変える必要はあると思いますか？

あるとしたら自転車はどこを通行すべきと考えますか。

(1) 変える必要はない(現行制度のままで良い) 8 人
(2) 歩道のみを通行とすべき 0 人
(3) 車道のみを通行とすべき 2 5 人
(4) 自転車道の充実等自転車の安全な移動空間を確保を目指すべきであり、これが一定程度実現するまでは歩道も通行可とすべき 2 3 人

1 6 . 歩道を歩いていて自転車を危険だと思ったことはありますか。

(1) ある 5 5 人 (2) ない 2 人

1 7 . 今回の道路交通法改正問題について知っていましたか。

(1) 知っていた 5 4 人 (2) 知らなかった 3 人

1 8 . 平成18年11月に自転車対策検討懇談会が公表した「自転車の安全利用の促進に関する提言」についてどう思いますか。

(1) 賛成 1 人 (2) 反対 4 2 人 (3) どちらとも言えない 6 人
(4) 分からない 2 人 (5) その他 5 人

1 9 . 自転車政策に関し望むこと、その他自転車に関する問題で感じることをあげて下さい。

- ・自動車の専横を放置してはなりません。歩行者にとって安全な歩道は、自転車にとって安全な車道なしには成り立たない。
- ・普遍的であるが、自転車にとっても歩行者にとっても安心できるものを望みたい。
- ・現行法制では自転車に関する規定について不明確、曖昧、非現実的なものが多く、これこそどうにかしてほしい。
- ・車検。9割のママチャリに乗りメンテなんて不可能。年に一度は定期メンテを義務とすべし。
- ・当方HP「都市生活改善ボランティア」にて見解を公表していますので、ご覧下さい。
- ・とにかく検討が必要だと思っています。
- ・まず自動車ドライバーのルール順守をはかれ。

- ・自転車対策についての女性の論客。自転車をライフワークとする首長、「自転車族」議員が必要。

- ・自転車、クルマ、歩行者の区間区分ではなく合理的なシュラリングを考えていく必要を感じる。また、わかりやすいルール、標示が必要で、特に自転車はそのルールの難しさがルール無視につながっていると思う。
- ・共存！ 新規高速道路を作る時に自転車道を併設して欲しい。「しまなみ海道」は感動した。
- ・自転車が都市交通においてどういう存在になっていくのか、その理念から明確にすることから進めるべきである。
- ・山ほどありますが、まずは子供への教育が必要。
- ・歩道は歩行者が安心できる道であるべきで、自転車は自転車が安心できる道がほしいと思います。
- ・自転車の存在を明確化して欲しい。
- ・義務教育に「自転車」意識を高めよ！
- ・川崎などで路肩の幅を狭くして、歩道を広げている。施工業者のために、工費を増大させているとしか思えない。
- ・とにかく、歩道は歩行者のもとにかえすべき。自転車は車道の左側に「自転車道」（色付きが良い）を作って欲しい。
- ・今日、サイクリングロードが徐行しなければいけない道路と知ってショックです。自転車が胸を張って走れる道路が出来ることを願います。
- ・自転車が安すぎる。
- ・普通のママチャリに乗っているのですが、車だけでなくロードに抜かれるときも怖い。自転車も様々なので、それに合わせた道路整備をしてもらいたいし、ルールは分かりやすく告知してもらいたい。
- ・国として自転車政策の立案、英国のナショナル・バイシクル・パスのような全国自転車道路網の構築。
- ・自動車から自転車へのシフトを進めるための保険制度を充実させて欲しい。自転車保険だけでなく、自分の自動車を持たないドライバー保険が不十分で自動車を手放すのが難しかった。
- ・まず、取り締まる側の警察官が道交法を守ってほしい。
- ・民間団体の主張も多くは「マナーを守って歩道を通行しよう」ということに結局なっており絶望している。これでは現状の困った自転車利用者にも何も影響しない。
- ・自転車だけでなく、都市交通のあり方と人の動き（モビリティ）のあり方から見て総合的に対応すべき。→人の意識改革と徹底的に良いモデル事例をつくることが重要。
- ・事故と違反の話にせず、くにつくり・まちづくりの視点から、国レベルでのビジョンを確立していかないと、いつまでも解決されないのではないかな。
- ・自転車のマナーが悪すぎ。教育に問題がある。
- ・自転車を通常の車両として扱うべき。
- ・自転車も免許証を。ただし法令試験のみ（年齢に関係なく）
- ・ルールが明確でなく、自転車に対しても自動車に対しても徹底されていない。自転車を主とする考えが足りない。
- ・歩行者、車いす等の弱者も含め、安全な道路の整備を行い、住みやすいまちづくりの観点で、道路行政を見直すべきだ。車優先の道路行政はごめんだ。
- ・自転車駐輪場を商店街などにたくさん作ってほしい。街中に入ってくる車の規制をしてほしい。

- ・道路で邪魔者扱いされているのは非常に残念。
- ・自転車の安全通行についてもっと積極的に検討すべきであり自動車中心の対策を改めるべきである。
- ・楽しく安全に走行できればよい。都市交通問題の解決方法の1つとして自転車があるわけで、自転車が善、自動車が悪ではない。双方が共存可能な政策を望みたい。
- ・道路作りの国交省と規制作りの警察とは、密接な関係をつくるべき。できれば統合して一本化してほしいものである。
- ・国民があまりにも交通ルールを知らなすぎると思う場面によくでくわします。どう改正されるかはもちろん重要ですが、ルールをどう変えても国民が知らないという意味がないと思ったりもします。
- ・これ以上、歩行者を危険にさらさないでほしい。これ以上クルマ優先社会にしてほしくない。
- ・車にかわる重要な都市交通として確立させたい。
- ・「自動車は車道を走るのが基本」という車を、車道を使用する人すべてにアピールし、弱者保護、安全運転を徹底してほしい。
- ・自転車レーンの整備・走行規則の教育。すべての人に対する正しい交通方法の教育。

20. 今後、参加してみたい都市交通に関するシンポジウムがあれば、ご記入下さい。

- ・公共交通のあり方についても今後予定していれば参加しようと思いますが、他にも今回の道交法改正案にも出ている後席シートベルト着用についてあれば参加してみたいと思います。
- ・マイカーの通行禁止など。
- ・自転車関係
- ・速度制限見直し法案
- ・バリアフリーに関するもの
- ・クルマ依存型社会からの脱却へ向けたモデルプラン
- ・駐輪、駐車に関するもの
- ・こういう話の主婦が入ってくると、現実的で誰に対しても使いやすい道づくりの話ができると思う。主婦参加のシンポジウムを聞きたい。自転車に乗ったことのない人の考える法は問題外だけど、ママチャリに乗ってない人の考える法にも問題があるのでは？
- ・自転車利用による都市再生・活性化
- ・東京の五輪招致と交通問題
- ・路面電車の●活
- ・自転車専用レーンに関するシンポジウム
- ・日本全国に自転車専用道路（観光地だけでなく）、遊歩道路のネットワークをはりめぐらせる建設プラン
- ・歩行者、自転車等の安全に関するシンポ

21. 最後に、本日のシンポジウムに対するご感想をご記入ください。

- ・資料1「「提言」の骨子」は「提言」を日本語として読んだ要約としては不適切と思います。

- ・書面による質問・意見の提出があること、事前にお知らせいただくと準備ができて良かったです。
- ・古川氏の警察庁ヒアリングご報告と小林氏の諸外国の映像解説はとても有意義でした。この人数なら会場内自由質疑応答の機会を設けても良かったと思います。
- ・1つだけ、警察庁の組織としてのあり方について疑問を持ったことは確かです。
- ・このようなシンポジウムという機会を設けていただいたことに敬意と感謝を表したいと思います。
- ・最後のQ & Aにもっと時間がほしかった。
- ・参加者にも発言させて欲しかった。それが出来る人も何人かいたのだから。あと、いい内容だったが、それを警察も政治家も誰も聞いていない。
- ・歩行者、障害者の意見も反映していただければ、より良かったと思います。
- ・大変参考になりました。
- ・声をあげていかないといけないんだということを決意しました。
- ・今まであいまいだった考え方が、明確になりました。同時にとても重大な、法律改正であることをさらに実感しました。
- ・有意義でした。資料が少し多すぎたかも。
- ・都市にとって自転車の持つポテンシャルを再確認することができた。
- ・問題点を詳しく知ることが出来ました。
- ・1階に標示がほしかった。次回はもっと広い会場で。
- ・交通の優先度の表が分かりやすかった。できれば、法案作成者の目の前にはって理解して欲しいです。
- ・質問が紹介されて良かったが、前半がカットされたので本来の趣旨が伝わらなかったようで残念だった。質疑に入る前が長すぎたと思う。
- ・弁護士会の方のデータの示し方がわかりにくかったので、分かりやすく示してほしかった。データは見る人により見方が180度変わるので（今回の法改正のように）、誰にも分かりやすい形で示してほしかった。（小林氏のデータはわかりやすかった）
- ・小林さんに国土交通大臣になってもらいたい。首相だったらなおいい。
- ・問題を認識している参加者が多いのが残念。普段、自転車で車道を走行しない層にどうアピールしていくかが課題だと思う。
- ・法案提案者の出席のないのが残念です。（一方通行の可能性あり）
- ・堅い感じではなく、スムーズに会合に入れた。
- ・勉強させて頂きました。ありがとうございました。
- ・水準の高い内容だった。
- ・大変良かった。自転車を日頃愛用している立場から色々と参考となりました。
- ・案内の通知は早めに送付してくださると助かります。
- ・認識はしていたけど、あいまいになっていた事を整理することができました。ただ、時間が短いこともあります。現状の総論になっているのか、もう少し今回の法案が良い方向へ発展に転換する考えを聞きたかったです。
- ・有意義であった。できれば警察関係者の出席があればもっと良かった。
- ・色々な話を聞いて、また自分の考えや行動が間違っただけではないようだと思えたことは良かったが、今の緊急時にやるべき具体的なことが自分には、パブリックコメント以外に無いのが（新しい行動目標が見つからなかったのが）残念といえば残念。